

早乙女と称し早植えに挑戦する
女子児童たち（葛蒲川小学校）



農事びより・田植え



- ①胡桃館小学校田植え学習
- ②富士見小学校田植え学習
- ③最後の田植えに田んぼの前で記念撮影する6年生（葛蒲川小学校）
- ④田植え前に型をつけるジュニアリーダー（田んぼの学校）
- ⑤泥に足を取られながらも田植えを楽しむ児童（田んぼの学校）

田植え学習が開かれる

鶴田町の水田では、春先の低温により例年より10日ほど遅れて5月15日（土）ころから田植えが始まりました。

各小学校でも今年の田植え学習がそれぞれ行われました。

○5月24日（月） 葛蒲川小学校
作付け・もち米

○5月28日（金） 富士見小学校
作付け・うるち米（つがるロマン）
同日 梅沢小学校

作付け・もち米

○5月31日（月） 胡桃館小学校
作付け・うるち米（つがるロマン）

田植え学習では、農家の方から植え方を教えてもらい、児童たちが泥まみれになりながらも型どおりに順序良く植えていました。最後に田んぼの神様にお供えをあげて、今年の豊作を祈っていました。昨年引き続き、町では廻堰地区の水田（須藤喜興一さん所有）をお借りして、「水辺環境体験学習・田んぼの学校」を開設しています。これは、子どもたちが農業体験を通して、自然豊かな水環境の基礎となる水と土の在り方を学ぶための事業です。

5月15日（土）、農作業経験の全くない管内の児童30人が、ジュニアリーダーの補助で田植えに挑戦しました。参加した子どもたちは、みんな泥んこになりながらも素足で入る田んぼの感触を楽しんでいるようでした。



△5月22日(土)、田植えの最盛期を迎え、管内巡回督励が行われました(写真は田植えの進捗状況を農家に聞く中野町長)



①

- ①みどり町子ども会田植え体験。本物の田植機に乗りました
- ②京町小学校(川崎市)で児童に指導する神販売指導課長
- ③泥だらけになってもこの元気(胡桃館小学校)



③



④



⑤



⑥



- ④田んぼに足をとられ動けなくなる児童(京町小学校・川崎市)
- ⑤田植えが終わり泥だらけに(田んぼの学校)
- ⑥初めて苗に触れる児童たち(京町小学校・川崎市)

「ヤッテマレ軽トラ市」を開催します!

西北津軽で採れる農林水産物等の地産地消推進と五所川原市商店街の活性化を図るため、五所川原市駅前の立佞武多通り約220mを歩行者天国にして、軽トラの荷台で農林水産物を販売する「軽トラ市」を下記の日程で開催します。

「軽トラ市」では、西北地域で採れた新鮮な農林水産物や特産品などを販売するほか、商店街店舗による特売、イベントの実施を予定しています。

■開催日時 各回とも午前9時~午後1時(雨天決行)

- ・第1回 6月27日(日) ・第2回 7月25日(日)
- ・第3回 8月22日(日) ・第4回 9月26日(日)
- ・第5回 10月17日(日)

■開催場所 五所川原市立佞武多通り ■出店台数 軽トラック50台(予定)

■問い合わせ・申し込み先

ヤッテマレ軽トラ市まちおこし実行委員会事務局 ㊚(34) 2228 洋服のマルワ
西北五地域県民局地域農林水産部農業普及室 桜庭 ㊚(34) 2111・内線236

都会の児童も田植え体験

都会の子どもたちに農作業を体験してもらおうと、当町よりJ-Aつがるにしきた鶴翔支店の神販売指導課長と産業観光課佐藤班長が現地に向き、6月4日(金)、神奈川川崎市立京町小学校で田植え教室を行いました。

5年生92人が、販売指導課長の指導でコメづくりについて学習した後、校庭の池を利用して作られた田んぼに全員素足で入り、泥んこになりながらもていねいに苗を植えていました。